



郡山市医療介護病院及び郡山市医療介護病院介護医療院
の運営状況について（答申）
（対象年度：令和４年度）

令和６年２月７日

郡山市医療介護病院等評価委員会

郡山市医療介護病院等評価委員会委員名簿

(任期：令和4年6月1日～令和7年5月31日)

委員長	土川 研也
委員長職務代理者	小口 正子
委員	岩瀬 次郎
委員	佐藤 竜太
委員	高田 哲也
委員	土屋 貴男
委員	橋本 直子
委員	堀口 ひろみ

令和5年度郡山市医療介護病院等評価委員会開催状況

No.	開催日時	開催場所	議題
1	令和5年8月30日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和4年度郡山市医療介護病院等事業報告書に対する評価要領(案)について ○ スケジュールについて
2	令和5年10月18日(水)	郡山市総合福祉センター	○ 令和4年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について
3	令和5年11月15日(水)	郡山市役所	○ 令和4年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について
4	令和5年12月20日(水)	郡山市役所	○ 令和4年度郡山市医療介護病院等事業報告書の評価について

「郡山市医療介護病院及び郡山市医療介護病院介護医療院の運営状況について」に係る審査及び評価について

郡山市医療介護病院等評価委員会（以下「本委員会」という。）は郡山市医療介護病院（以下「医療介護病院」という。）及び郡山市医療介護病院介護医療院（以下「介護医療院」という。）の運営状況に関し、郡山市病院及び介護医療院条例の規定により、郡山市長からの諮問を受け、令和 4 年度医療介護病院等事業報告書の審査及び評価に関することについて、指定管理者である一般社団法人郡山医師会（以下「郡山医師会」という。）から令和 5 年 5 月 30 日に提出された令和 4 年度事業報告書の内容を、下記のとおり審査及び評価を行った。

記

1 会議の開催

本委員会は、郡山市病院及び介護医療院条例第 15 条第 2 項の規定に基づき、郡山市長から医療介護病院及び医療介護病院介護医療院の運営状況について諮問を受け、令和 5 年 8 月 30 日から令和 5 年 12 月 20 日にわたり 4 回の委員会を開催し、審査及び評価を実施した。

なお、本委員会の開催状況については前頁のとおりである。

2 審査・評価の方法等

医療介護病院は開院 17 年度目、介護医療院は開所 3 年度目に当たる令和 4 年度を、評価対象の事業期間とした。

評価は、病院事業及び介護医療院事業について総合的に評価する全体評価と、「令和 4 年度郡山市医療介護病院事業計画」の各事業項目及び令和 4 年度の経営状況等を項目とし、その達成状況や健全性、効率性等を評価する項目別評価により行った。

また、項目別評価の一部について数値目標の達成度による評価基準を導入し、達成度による評価、目標設定の妥当性、取組内容を含めて評価した。

なお、項目別評価の実施に際しては、参考資料として郡山医師会から自己評価を徴し、医療介護病院職員に対するヒアリングについては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からウェブ会議システムを用いてヒアリングを行い、A・B・C・D・E の 5 段階の評点（A：極めて適切である、B：適切である、C：おおむね適切である、D：適切さにやや欠ける、E：適切でない）により評価した。

令和４年度郡山市医療介護病院等事業報告書の審査及び評価について

1 全体評価

(１) 評価結果

医療介護病院は開院 17 年度目、介護医療院は開所 3 年度目となった令和４年度は、極めて適切に「令和４年度郡山市医療介護病院事業計画」に基づいた事業運営がなされ、経営状況については、エネルギー価格を含む物価高騰の影響を大きく受けたが、新型コロナウイルス感染症対策、新型コロナウイルスワクチン接種、物価高騰対策に係る各種補助金による収益として約 1,136 万円などの特殊要因となる収益により約 544 万円の当期純利益を確保するなど、財務の健全性が保たれており、適切に施設運営がなされたものと評価する。

(２) 評価に係る意見

はじめに、令和４年度における医療介護病院及び介護医療院の運営は、開院時に掲げた「生命の尊重と個人の尊厳を旨とし、和をもって市民に信頼される保健・医療・福祉サービスを提供します。」という基本理念のもと、次のとおり適切に運営がなされていると評価する。

まず、医療安全体制の推進については、毎年度のヒヤリハットの報告に対して KYT（危険予知訓練）を行い、再発防止に努めることで令和４年度実績は前年度から 57 件減と成果が数字に表れたことは大変評価できる。医療安全に関する研修会についても欠席者に対して研修映像による受講後にレポートを提出させることで、学習成果のチェックを行っていることは素晴らしい取り組みである。感染防止対策の徹底についても、院内組織による定期的なラウンド及びカンファレンスなどの感染防止対策の取り組みが前年度に引き続き実施され、新型コロナウイルス感染症の院内感

染による拡大を抑止したことは大変評価できる。

次に、病床機能の充実については、病床稼働率は93.7%と前年度比で少し増加し、状態が不安定な方の受入れも積極的に行いながらできるだけ空床期間ができないようにベッドコントロールを行えたことは大変評価できる。FIM（機能的自立度評価法）※₁の活用についても新型コロナウイルス感染症の影響により中断していた講師を招いての勉強会を再開し、より良い医療・介護を提供する環境を醸成するとともに、現場での実践につながっていることは評価できる。また、栄養改善・口腔機能向上のための取り組みとして、全入所者に対し、栄養ケアマネジメントを実施し、多職種で口腔機能向上のために取り組んだことは大変評価できる。

次に、外来機能の充実については、発熱外来の設置や院内でのPCR検査体制の拡充により、地域における新型コロナウイルス感染症の診療に対応できたことは大変評価できる。また、医療機器共同利用（受託検査）の受入体制は、PCR検査による受託検査の予約時間に制約があったものの、令和3年度実施実績とほぼ同数の医療機器共同利用件数となり、地域開業医の後方支援として十分に機能することができた。

次に、介護医療院の適切な管理運営については、介護医療院の療養棟稼働率は年度目標を達成できなかったものの、達成度は98.6%とほぼ目標に近い実績となっており、入所者のQOL※₂を重視した生活拠点としてのケアの提供、多職種連携による経口摂取を推進する取り組みは大変評価できる。また、地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携においても、感染対策を講じた上での訪問などを通し、在宅診療所の后方支援と介護サービス事業所との連携に取り組んでいることは大変評価できる。

次に、経営状況については、コロナ禍の中でも院内感染の予防を徹底したことに

より、感染発生による病床の縮小及び閉鎖、職員の減を防ぎ、年間を通して高い病床稼働率、療養棟稼働率を維持し、医業収入については、過去5年間で最大となったことは評価できる。エネルギー価格を含む物価高騰の影響を大きく受け、医業費用についても過去最大となったが、電気供給契約の見直し等に取り組み、また、国の補助金を活用したPCR検査機器の導入や職員の相互の応援体制の構築など効率的な運営に努めたことは評価できる。

その他、通所リハビリテーションの推進と効果的な運営、在宅療養支援体制の推進、予防医学の充実、院内組織体制の強化、学術・教育に関する事項、地域保健医療福祉に関する事項、医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応が組織的・計画的に実施され、地域に根ざした保健・医療・福祉サービスの提供ができていることは評価できる。

今後、以下の点に留意され、医療介護病院及び介護医療院がより一層市民からの信頼を得て、効率的で安定した施設運営を実現していくことを期待する。

まず、情報管理体制の整備については、職員に対する情報管理体制及び個人情報保護研修の受講率が低調であったことを鑑み、より受講しやすい研修体制と学習成果をチェックする手法について検討されたい。

次に、災害時の体制整備については、介護施設で令和6年度から義務付けとなる事業継続計画（BCP）について、策定後に随時見直しを行い、精度を高めていくことが求められることから、事業継続計画（BCP）を早期に策定し、運用開始後の柔軟な見直しを可能にする体制を構築されたい。

次に、外部評価によるサービスの向上については、広報誌の発行及びホームページの充実において、ホームページでは発熱外来の特設ページの作成、乳がん検診の周知など積極的な情報発信を行えた一方、広報誌の発行は目標を達することはでき

なかった。地域住民を対象とした活動を再開する中、広報誌が地域への情報発信として果たす役割も大きいことから、次年度は広報誌の発行回数が目標を達成できるよう努められたい。

最後に、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年が間近に迫る中、新型コロナウイルス感染症の影響も長期化しており、「医療・介護・保健の拠点」としての役割がますます高まると考えられることから、医療介護病院及び介護医療院が市民により厚く信頼され、時代に即応した施設となるよう、全職員が一丸となり、地域ニーズに即した質の高いサービスを提供すると同時に、健全経営に取り組まれることを期待する。

※₁ FIM(機能的自立度評価法) : 「Functional Independence Measure」の略語。患者や介護サービス利用者の日常生活動作(ADL)の介護量を測定することができ、医学的な知識がない方でも採点できるため、医療現場だけでなく介護現場でも幅広く活用されている。

※₂ QOL : (Quality Of Life)の略語。「生活の質」や「人生の質」の意。

2 項目別評価

大項目Ⅰ「令和４年度事業計画の達成状況」については、中項目 14 項目、小項目 43 項目により評価を行い、評価は「Ａ：極めて適切である」となった。

大項目Ⅱ「令和４年度の経営状況等」については、小項目 2 項目により評価を行い、評価は「Ｂ：適切である」となった。

各項目の評価に係る意見等については、以下のとおりである。

大項目	I 令和４年度事業計画の達成状況	評点	A
中項目	1 医療安全体制の推進	評点	A
	2 病床機能の充実		A
	3 外来機能の充実		A
	4 介護医療院の適切な管理運営		A
	5 通所リハビリテーションの推進と効果的な運営		A
	6 在宅療養支援体制の推進		A
	7 予防医学の充実		A
	8 院内組織体制の強化		A
	9 情報管理体制の整備		A
	10 危機管理体制の整備		B
	11 外部評価によるサービス向上への取組		B
	12 学術・教育に関する事項		A
	13 地域保健医療福祉に関する事項		A
	14 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応		A
評価に係る意見等	令和４年度の病院運営は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、感染対策を行いながら、高い病床稼働率を維持した点は評価できる。多くの項目で目標を達成し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目についても、できることを着実に実行しており、各種事業について概ね適正に執行された。 また、新型コロナウイルス感染症の関連業務として PCR 検査の実施や新型コロナウイルスワクチンの接種など地域医療に大きく貢献している。加えて、感染状況を見極めながら、市民公開講座やオレンジカフェ等の開催に努め、地域活動にも力を入れている。		

中項目	1 医療安全体制の推進	評点	A
小項目	1 医療安全管理に対する取組の推進	評点	A
	2 感染防止対策の推進		A
評価に係る意見等	医療安全管理に対する取組の推進については、医療安全に関する研修会を目標通りの回数開催し、研修に参加できなかった職員にも全員に後日研修映像の視聴及びアンケートを実施したことは大変評価できる。また、ヒヤリハットの報告に対してKYT（危険予知訓練）を行い、再発防止に努め、令和4年度実績は前年度から 57 件減と成果が数字に表れたことは大変評価できる。 感染防止対策の推進については、感染防止研修会を、目標を上回る開催を行い、院内組織による定期的なラウンド及びカンファレンスなどの感染防止対策の取組が前年度に引き続き実施され、新型コロナウイルス感染症の院内感染拡大を抑止したことは大変評価できる。		

中項目	2 病床機能の充実	評点	A
小項目	1 医療・介護連携による効率的運用及び栄養改善・口腔機能向上のための取組の推進	評点	A
	2 リハビリテーションの充実（FIMの活用）		A
	3 オープン病床の活用		B
評価に係る意見等	医療・介護連携による効率的運用及び栄養改善・口腔機能向上のための取組の推進について、病床稼働率は目標には及ばなかったものの、前年度を上回る 93.7% の実績となり、空床期間ができないようにベッドコントロールを行えたことは大変評価できる。また、栄養改善・口腔機能向上のための取組みとして、全入所者に対し、栄養ケアマネジメントを実施し、多職種で口腔機能向上のため取り組んだことは大変評価できる。 リハビリテーションの充実（FIM の活用）については、新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた FIM に関する勉強会、リハビリ検討会を再開し、また、通所リハビリテーションの利用者の自宅を訪問しての生活評価を延べ 50 件したことは大変評価できる。 オープン病床の活用については、共同指導料の算定は 0 件であったものの、前年度と同数の相談件数を対応し、紹介された全ケースについて緊急で受入対応し、在宅医療の後方支援を担うことができたことは評価できる。		

中項目	3 外来機能の充実	評点	A
小項目	1 病診連携の推進	評点	A
	2 医療機器共同利用（受託検査）の推進		A
評価に係る意見等	病診連携の推進については、外来診療件数が目標(6,000件)を超える実績(6,544件)であり、また、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状のある方については「発熱外来」で対応し、新たに PCR 検査装置を 1 台導入し、1,376 件の検査対応を行ったことは、地域の新型コロナウイルス感染症診療に大きく貢献するものであり、大変評価できる。 医療機器共同利用の推進については、受託医療機関を増やし、医療機器共同利用件数が目標（420 件）を上回る実績（453 件）であったことは大変評価できる。		

中項目	4 介護医療院の適切な管理運営	評点	A
小項目	1 日常的な医学管理・看取り・ターミナルケアの体制の充実及び栄養改善・口腔機能向上のための取組の推進	評点	A
	2 生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れ		A
	3 地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携		A
	4 短期入所療養介護サービスの効果的、効率的な運営		B
評価に係る意見等	日常的な医学管理・看取り・ターミナルケアの体制の充実及び栄養改善・口腔機能向上のための取組の推進については、療養棟稼働率は目標を達成できなかったものの、前年度を上回る実績となり、達成度は 98.3%とほぼ目標に近い実績となっている。また、入所者の QOL を重視したケアの提供、多職種連携による経口摂取を推進する取り組みは大変評価できる。		
	生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れについては、生活の場としての環境づくりや状況に応じた面会の工夫が行えており、また、家族介護教室やセミナーなどを通して地域との交流を図っていることは大変評価できる。		
	地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携については、感染対策を講じた上での訪問などを通し、在宅診療所の後方支援と介護サービス事業所との連携に取り組んでいることは大変評価できる。		
	短期入所療養介護サービスの効果的、効率的な運営については、利用件数が前年度及び目標の約半数に留まっていることから、今後についても需要状況に合わせたベッドコントロールを行い、効率的な稼働に努められたい。		

中項目	5 通所リハビリテーションの推進と効果的な運営	評点	A
小項目	1 通所リハビリテーションサービスの充実	評点	A
	2 多職種連携による口腔機能向上の取組のための体制整備及び在宅生活支援の推進		A
評価に係る意見等	通所リハビリテーションサービスの充実については、利用件数が目標（8,520 件）を上回る実績（8,567 件）となり、また、多職種によるカンファレンスやクラブ活動の実施は大変評価できる。 多職種連携による口腔機能向上の取組のための体制整備及び在宅生活支援の推進については、介入延べ件数が前年度（601件）を大幅に上回る実績（1,323件）となっており、全利用者に対して栄養アセスメントを行い、また口腔アセスメントを開始し、歯科受診につなげるなど多職種による連携体制が構築できている点は大変評価できる。		

中項目	6 在宅療養支援体制の推進	評点	A
小項目	1 地域包括ケアシステム構築の推進	評点	A
	2 病診連携によるかかりつけ医への支援		A
	3 郡山医師会の関連機関との連携		A
評価に係る意見等	地域包括ケアシステム構築の推進については、新型コロナウイルス感染症等の感染対策を講じながら対面での活動も再開し、また、ICT ツールの活用による研修会やアンケート調査の実施により、医療と介護の連携が図られている。 病診連携によるかかりつけ医への支援については、かかりつけ医からの随時の相談に対応し、入院及び入所について病院全体（病院及び介護医療院）で検討し、都度状況に応じて対応できたことは評価できる。 郡山医師会の関連機関との連携については、事業所が院内にあるという利点を生かし、定期的な情報共有を行い、緊急時の対応を含めて円滑な連携が図られている。		

中項目	7 予防医学の充実	評点	A
小項目	1 各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実	評点	A
	2 特定保健指導・加齢度測定健診の実施		B
	3 予防接種事業への協力		A
評価に係る意見等	各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実については、乳がん検診の開始等により、健康診査の実施件数は目標（800 件）を大きく上回る実績（1,357 件）となっている。		
	特定保健指導・加齢度測定健診の実施については、ともに実施件数が目標を大幅に下回っていた。加齢度測定健診については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため実施を見合わせたとのことだが、前年度の当委員会の答申事項にある通り、認知度を上げていくための PR 方法や多くの方々に受診してもらえるようなニーズに合う健診内容への見直しを検討いただきたい。また、特定保健指導についても、周知方法について検討いただきたい。		
	予防接種事業への協力については、新型コロナウイルスワクチン接種を外来診療以外の時間帯で対応するなど利用者の利便性に配慮した対応を行っており、また、インフルエンザワクチン接種などをニーズに合わせて実施し、地域医療に大きく貢献している。		

中項目	8 院内組織体制の強化	評点	A
小項目	1 必要人員の確保	評点	A
	2 労働安全衛生の確立		A
	3 コ・オペレイティング・ドクターズチームとの連携強化		A
評価に係る意見等	必要人員の確保については、一部の専門職員の確保に苦慮しているとのことだが、施設基準（運営基準）を下回ることなく職員を充足させることができたことは大変評価できる。 労働安全衛生の確立については、前年度に引き続き職員の健康診断受診率、ストレスチェック制度の参加率ともに 100%を達成することができたことは大変評価できる。また、健診やストレスチェックの結果を踏まえて産業医からフィードバックを受け、職員の健康づくりに取り組んでいることは素晴らしい。 コ・オペレイティング・ドクターズチームの連携強化については、新型コロナウイルス感染症の影響により合同研修会などの活動が行えなかったが、通常の日当直業務は影響なく行うことができています。		

中項目	9 情報管理体制の整備	評点	A
小項目	1 院内ネットワーク構築の推進	評点	A
	2 職員に対する情報システム・管理等の周知徹底		B
	3 情報公開・公表の推進		A
	4 ペーパーレス化に向けた検討（デジタル化への対応）		A
評価に係る意見等	院内ネットワーク構築の推進については、オンライン資格確認機器の設置・設定を完了し、運用できる環境を整えている点は評価できる。		
	職員に対する情報システム・管理等の周知徹底については、研修の職員受講率が前年度の 92.7%より大幅に下がり、43.8%となっている。未受講者に対しては資料配布、アンケートの実施を行っているとのことだが、内容の理解が十分になされたとは判断しづらい。職員が受講しやすい研修方式を検討するとともに、受講者、未受講者問わず、研修内容の定着についてチェックできる方法を検討されたい。		
	情報公開・公表の推進については、ホームページやFacebook により適切に情報発信がされている。		
	ペーパーレス化に向けた検討（デジタル化への対応）については、診療情報提供書などをPDF化し、電子カルテに取り込むなどの対応は評価できる。		

中項目	10 危機管理体制の整備	評点	B
小項目	1 事業継続計画（BCP）の策定	評点	B
	2 防災訓練の充実		A
	3 災害用備蓄品等の整備と見直し		B
	4 郡山市及び郡山医師会の災害対策への協力		A
	5 情報の収集と発信		A

評価に係る意見等	事業継続計画（BCP）の策定については、素案の作成が完了しており、介護施設での令和 6 年度からの義務付けに間に合うように進めているとのことだが、早期に策定し、運用しながら随時見直しを図っていただきたい。 防災訓練の充実については、目標回数を超える訓練の開催を行っており、また、毎月、建物内外の自主検査をし、火災等のリスクを評価していることは評価できる。 災害用備蓄品等の整備と見直しについては、非常用電源としての灯油の備蓄が設備上限界であるとのことだが、災害時において長時間の電源確保が確実となるよう引き続き検討を進められたい。 郡山市及び郡山医師会の災害対策への協力については、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、総合防災訓練が中止になったことにより具体的な活動はなかったが、災害時に備えた取組は行われている。 情報の収集と発信については、EMIS（広域災害・緊急医療情報システム）の訓練に参加したことは評価できる。災害の際に、情報収集・発信の方法を複数持てるよう検討いただきたい。
----------	---

中項目	11 外部評価によるサービス向上への取組	評点	B
小項目	1 郡山市医療介護病院等評価委員会による第三者評価	評点	B
	2 受診者・利用者の満足度の向上		B
	3 広報誌の発行及びホームページ等の充実		B
評価に係る意見等	郡山市医療介護病院等評価委員会による第三者評価については、前年度の本委員会において適切な運営がされているとしたものの、検討が必要な課題が複数あることから、引き続き改善に向けて取り組まれたい。 受診者・利用者の満足度の向上については、利用者満足度調査の結果、満足度の割合が前年度調査結果を上回ったことは大変評価できる。直接面会への対応も含めさらにサービスの向上に向けた取り組みについて、検討されたい。 広報誌の発行及びホームページ等の充実については、ホームページや Facebook により適切に情報発信がされているものの、広報誌の発行は、目標 3 回に対し、実績が 1 回であった。地域への情報発信として果たす役割も大きいことから、目標通り広報誌を発行できるように努められたい。		

中項目	12 学術・教育に関する事項	評点	A
小項目	1 教育研修の計画的な推進と実施	評点	A
	2 ユマニチュード®の実践への取組と推進		A
	3 ボランティア活動支援の推進		B
	4 医療・介護専門職育成への取組		A
	5 郡山看護専門学校への協力		A
評価に係る意見等	教育研修の計画的な推進と実施については、年間計画に基づき研修を実施し、研修後のアンケート結果を分析し、内容の検討に活用していることは評価できる。また、学会発表やシンポジウム参加など積極的な取り組みがみられる。 ユマニチュード®の実践への取組と推進については、目標を上回る研修会の開催を行い、外部講演への講師の派遣などを行っている。内部研修の実施及び外部研修への参加について計画どおり実施されている。 ボランティア活動支援の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア研修を開催できず、また、ボランティアの積極的な受け入れは行えなかったが、工夫をしながら、できる範囲での受け入れは行っていた。 医療・介護専門職育成への取組については、実習前に PCR 検査を行い、院内感染防止を図りながら、実習受入を行うことができたことは大変評価できる。 郡山看護専門学校への協力については、学校への講師派遣が適切に実施されている。		

中項目	13 地域保健医療福祉に関する事項	評点	A
小項目	1 健康相談・健康教育及び公開講座・出前講座の開催	評点	A
	2 総合相談機能の充実		A
	3 認知症対策事業の推進		A
	4 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進		A
評価に係る意見等	健康相談・健康教育及び公開講座・出前講座の開催については、健康相談は計画どおりの開催はできなかったものの、健康教育や市民公開講座は感染症対策を講じつつ目標通り開催することができたことは評価できる。 総合相談機能の充実については、相談件数が 817 件（前年度比 192 件増）であり、多くの入院及び入所の相談を受けている。 認知症対策事業の推進については、台風等による中止があったがオレンジカフェを 10 回開催し、また、認知症サポーター養成講座を目標通り 6 回開催することができている。 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進については、郡山地域連携パス協議会を 3 回開催し、顔の見える関係づくりに取り組み、また、MCS の普及に向け、活動を行い、MCS 登録者数及び活用数が増えたことは評価できる。		

中項目	14 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての検討と対応	評点	A
評価に係る意見等	新型コロナウイルス感染症に係る臨時の取り扱いに対応し、また、令和 6 年度の診療報酬・介護報酬改定に向け、情報収集活動を行っている。		

大項目	Ⅱ 令和４年度の経営状況等	評点	B
小項目	１ 経営状況の健全性	評点	B
	２ 経営効率化のための取組み		A
評価に係る意見等	経営状況については、令和４年度の収支決算は黒字であった。高い病床稼働率を維持し、過去５年で最大の医業収入であったが、エネルギー価格を含む物価高騰の影響を大きく受け、医業費用についても過去最大となり、前年度に引き続き、医業収益率、経常利益率がマイナスとなった。しかしながら、電気供給契約の見直し等に取り組み、また、国の補助金を活用したPCR検査機器の導入や職員の相互の応援体制の構築など効率的な運営に努めたことは評価できる。また、新型コロナウイルス感染症対策、新型コロナウイルスワクチン接種、物価高騰対策に係る各種補助金による収益として約 1,136 万円などの収益により約 544 万円の当期純利益を確保できた点は評価できる。 令和４年度が黒字となった主な要因は、前年度同様、新型コロナウイルス感染症対策等に係る各種補助金による収益によるものである。新型コロナウイルス感染症対策等に係る各種補助金は次年度以降の実施内容が不透明であることから、次年度においては補助金等による収益分が減収しても健全な経営状況が維持されることを期待する。		

【参考】評価項目一覧

大項目Ⅰ 令和４度事業計画の達成状況

中項目	小項目	評価の視点
1 医療安全体制の推進	1 医療安全管理に対する取組の推進	・医療安全管理に対する取組状況
	2 感染防止対策の推進	・感染防止対策の取組状況
2 病床機能の充実	1 医療・介護連携による効率的運用及び栄養改善・口腔機能向上のための取組の推進	・医療・介護における連携状況 ・栄養改善・口腔機能向上のための取組内容
	2 リハビリテーションの充実（FIMの活用）	・FIMの活用状況
	3 オープン病床の活用	・オープン病床の活用状況
3 外来機能の充実	1 病診連携の推進	・病診連携の推進に向けた取組内容 ・外来診療の実施実績 ・検査体制の整備状況
	2 医療機器共同利用（受託検査）の推進	・医療機器共同利用（受託検査）の実施実績
4 介護医療院の適切な管理運営	1 日常的な医学管理・看取り・ターミナルケアの体制の充実及び栄養改善・口腔機能向上のための取組の推進	・医学管理及び看取り、ターミナルケア体制の状況 ・栄養改善・口腔機能向上のための取組内容
	2 生活施設としてのサービスの充実及び地域交流とボランティアの積極的な受入れ	・生活施設としてのサービス内容 ・地域との交流状況及びボランティアの受入状況
	3 地域の医療保健福祉及び介護サービス事業者との連携	・地域の医療保健福祉事業者及び介護サービス事業者との連携状況
	4 短期入所療養介護サービスの効果的、効率的な運営	・短期入所療養介護サービスの運営状況
5 通所リハビリテーションの推進と効果的な運営	1 通所リハビリテーションサービスの充実	・通所リハビリテーションの運営状況
	2 多職種連携による口腔機能向上の取組のための体制整備及び在宅生活支援の推進	・多職種連携による口腔・栄養のための体制整備状況
6 在宅療養支援体制の推進	1 地域包括ケアシステム構築の推進	・地域包括ケアシステムの推進に向けた取組内容
	2 病診連携によるかかりつけ医への支援	・病診連携によるかかりつけ医への支援状況
	3 郡山医師会の関連機関との連携	・郡山医師会訪問看護ステーションとの連携状況 ・郡山医師会居宅介護支援事業所との連携状況 ・富田地域包括支援センターとの連携状況
7 予防医学の充実	1 各種健康診査（在宅療養者の健康診査を含む）の充実	・各種健康診査の実施実績
	2 特定保健指導・加齢度測定健診の実施	・特定保健指導の実施実績 ・加齢度測定健診の実施実績
	3 予防接種事業への協力	・予防接種事業への協力状況
8 院内組織体制の強化	1 必要人員の確保	・必要人員確保に向けた取組状況
	2 労働安全衛生の確立	・労働安全衛生の確立に向けた取組状況
	3 コ・オペレイティング・ドクターズチームとの連携強化	・コ・オペレイティング・ドクターズチームとの連携強化に向けた取組状況

中項目	小項目	評価の視点
9 情報管理体制の整備	1 院内ネットワーク構築の推進	・オンライン資格確認の設置状況
	2 職員に対する情報システム・管理等の周知徹底	・職員に対する情報システム・管理等の周知徹底のための取組状況
	3 情報公開・公表の推進	・情報公開・公表の推進のための取組状況
	4 ペーパーレス化に向けた検討(デジタル化への対応)	・ペーパーレス化に向けた取組状況
10 危機管理体制の整備	1 事業継続計画(BCP)の策定	・事業継続計画(BCP)の策定状況
	2 防災訓練の充実	・防災訓練の実施状況
	3 災害用備蓄品等の整備と見直し	・災害用備蓄品等の整備状況
	4 郡山市及び郡山医師会の災害対策への協力	・災害対策への協力状況
	5 情報の収集と発信	・災害時の情報収集・発信の取組状況
11 外部評価によるサービス向上への取組	1 郡山市医療介護病院等評価委員会による第三者評価	・郡山市医療介護病院等評価委員会の評価に対する分析と検討状況
	2 受診者・利用者の満足度の向上	・受診者満足度調査の結果内容
	3 広報誌の発行及びホームページ等の充実	・広報誌及び郡山市医療介護病院ホームページの充実にに向けた取組状況
12 学術・教育に関する事項	1 教育研修の計画的な推進と実施	・全体研修の充実にに向けた取組状況 ・部門別研修の充実にに向けた取組状況 ・学会発表の推進に向けた取組状況
	2 ユマニチュード®の実践への取組と推進	・ユマニチュード®研修の充実にに向けた取組状況 ・ユマニチュード®に係る研究事業の推進状況
	3 ボランティア活動支援の推進	・ボランティア研修及び人材育成の取組状況 ・ボランティアの受入状況
	4 医療・介護専門職育成への取組	・看護実習受入体制の充実にに向けた取組状況 ・介護福祉士実習受入体制の充実にに向けた取組状況 ・各種専門職育成のための奨学金制度の充実にに向けた取組状況 ・医師、その他専門職実習受入体制の充実にに向けた取組状況
	5 郡山看護専門学校への協力	・看護専門学校への協力状況
13 地域保健医療福祉に関する事項	1 健康相談・健康教育及び公開講座・出前講座の開催	・健康相談・健康教育の実施実績 ・公開講座・出前講座の実施実績
	2 総合相談機能の充実	・総合相談機能の充実にに向けた取組状況
	3 認知症対策事業の推進	・オレンジカフェの充実にに向けた取組状況 ・認知症サポーター養成講座の実施実績 ・認知症初期集中支援チームへの協力状況
	4 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	・郡山医師会病診連携室連絡協議会への協力状況及び郡山地域連携バス連絡協議会の運営状況 ・在宅医療・介護連携構築に向けた事業の推進状況 ・ICTの活用と推進状況
14 医療保険制度・介護保険制度改正に向けての対応		・医療保険制度・介護保険制度改正に向けた対応状況

大項目Ⅱ 令和４年度の経営状況等

中項目	小項目	評価の視点
	1 経営状況の健全性	令和４年度の経営状況
	2 経営効率化のための取組み	経営効率化のための取組状況